

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院呼吸器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2014年1月1日～2019年12月31日の間に、アレルギー性気管支肺炎真菌症またはアレルギー性気管支肺炎アスペルギルス症 のために虎の門病院呼吸器センター内科科に入院・通院し、治療 を受けられた方

【研究課題名】

アレルギー性気管支肺炎真菌症 第2回全国実態調査

【研究の目的・背景】

《目的》

下記＜研究意に至る背景＞で説明の通り、新しいアレルギー性気管支肺炎真菌症またはアレルギー性気管支肺炎アスペルギルス症の診断基準を作成したので今回は妥当性を確認し、難治症例の特徴・治療指針の作成に必要な基礎データを収集することを目的とする。

《研究に至る背景》

日本におけるアレルギー性気管支肺炎真菌症またはアレルギー性気管支肺炎アスペルギルス症の臨床像がこれまでの海外からの報告と異なっていることがわかり、本疾患の従来診断基準では診断困難な症例も多数存在することがわかりました。そこで全国調査に基づき、従来アレルギー性気管支肺炎真菌症またはアレルギー性気管支肺炎アスペルギルス症診断基準より利便性の高い、10項目からなる新しい診断基準を作成しました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年10月22日 ～ 2022年12月31日

【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院呼吸器センター内科 医長 宮本篤 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえうえて、 東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 へ CDROM に格納し配達記録付きにて郵送で提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、胸部レントゲン/CT データ、薬歴

【研究代表者】

東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 教授 浅野浩一郎

【虎の門病院における研究責任者】

呼吸器センター内科 高井大哉

【利用する者の範囲】

東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 教授 浅野 浩一郎
東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 准教授 小熊 剛
東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 助教 田中 淳
日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器学会関連施設(<https://www.jrs.or.jp>)、日本アレルギー学会認定教育施設（内科系）(<https://www.jsaweb.jp>)に属する施設

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身またはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身またはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2020 年 12 月 1 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 呼吸器センター内科 高井大哉

電話 03-3588-1111(代表)